

会派研修会実施報告書

会派研修の結果について、下記のとおり報告します。

令和6年4月12日

光市議会議長 木村信秀様

光市議会会派 「かいこう」

代表者 森戸 芳史

議員名 小林 隆司

議員名 早稲田真弓

記

- 1 研修日時 令和6年3月26日(火) 13:00～15:00
- 2 研修場所 武田薬品工業(株)厚生会館 1F研修室
- 3 研修内容 医薬品等の供給不安対策
- 4 研修結果 別紙のとおり

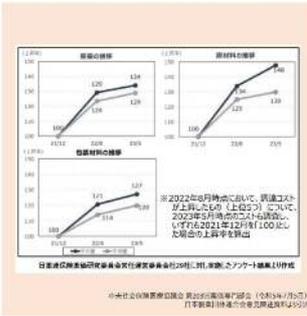
【医薬品や医療機器産業が現在直面している構造的な課題】

度重なる薬価改定・物価高騰による影響

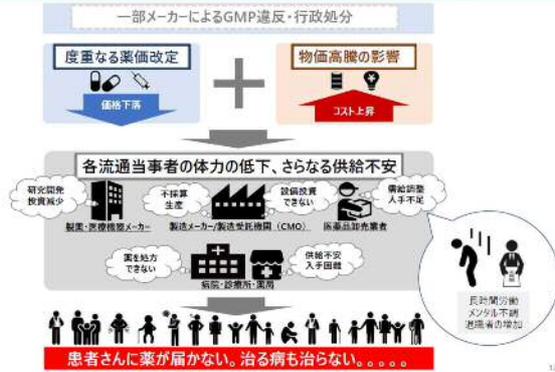
■中間年改定により薬価下落が加速



■物価高騰によるコスト増は昨年より悪化



医薬品や医療機器産業が現在直面している構造的な課題



・ 度重なる薬価改定や物価高騰の影響により、企業のコストが増加している。

・ 企業のコストが増加したことで、研究開発費の削減や設備投資の先送り、さらに一部の品目で不採算生産が行われている。

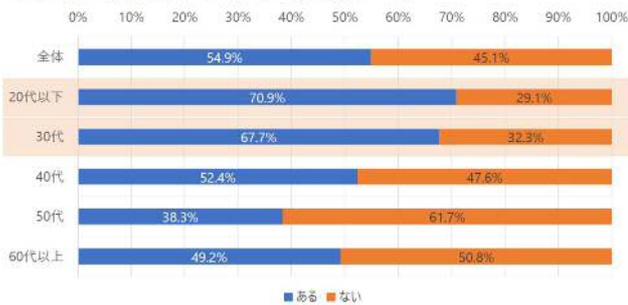
・ 政府より増産要請された鎮咳薬・去痰薬の一部（例：メジコン錠 15 mg、5.7 円／錠）の薬価がフリスク 1 個の価格と同等である。

【終わりの見えない供給不安の中、生産・流通・調剤等のサプライチェーンの状況】

医薬品卸の退職（転職）実態にかかる緊急調査

4. あなたの自身、この1年間で退職（転職）を考えたことはありますか？（年齢別結果）

「退職を考えたことがある」と回答した割合は、全年齢で54.9%であった。特に若手層でその傾向が顕著であり、20代以下・30代では約7割に上った。



医薬品卸の退職（転職）実態にかかる緊急調査

6. 上の5. の質問で選択した理由について、コメントがあれば記載してください。（若手のコメントを抜粋）

20代男性営業職	後発品の品切れが多すぎる状態が、もう3年以上続いているにも関わらず、一向に改善が見られず仕事に対するモチベーションが保てなくなっている
20代女性営業職	出荷調整による徹夜な在庫管理毎日の調整、メーカーさんの代わりにひたひたに頼られることも多々あります。本来の営業の仕事ができていなく、精神的な疲労や努力と給料があてないと感じています
20代女性営業職	同世代と比べて給料待遇や職場・業務の変化もなくこのままの業界に居ても将来性がない仕事だと感じ、10年後、20年後のキャリアアップやスキルアップした自分の姿が想像できないと思ったから。

・ ジェネリック医薬品が不足する中、医薬品の流通を担う卸売業者にカスタマーハラスメントとも言える問い合わせが相次いでいる。

・ UA ゼンセンが実施した医薬品卸の退職（転職）実態にかかる緊急調査によると、「退職を考えたことがある」と回答した割合は、全年齢で 54.9% であった。特に、若手層でその傾向が顕著であり、20 代以下・30 代では約 7 割に上った。

